

野球部



初の夢舞台!!

2020 甲子園高校野球交流試合 勝利!!

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
鹿児島城西	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
加藤学園	0	0	0	0	0	1	0	2	×	3



左から

勝又 友則くん (PⅢ3・裾野東中) 大村 善将くん (PⅢ6・蒲原中) 野極 友太朗くん (PⅢ4・三島南中)
 肥沼 竣くん (PⅢ5・山口中) 杉山 尊くん (PⅢ5・三島南中) 雨宮 快成くん (PⅡ5・東部中) 太田 圭哉くん (PⅡ2・大富中)
 宮崎 新那くん (PⅡ7・須山中) 飯塚 健太くん (PⅡ7・富士南中) 内田 歩希くん (PⅡ5・尾西第三中) 岩間 昂生くん (PⅡ7・吉原北中)
 船橋 知聖くん (PⅡ3・篠岡中) 平尾 勝多くん (PⅡ5・富士宮第一中) 杉本 陽哉くん (PⅡ6・中伊豆中) 大谷 正和くん (PⅡ7・立川第七中)
 吉田 光輝くん (PⅡ6・山田中) 植田 颯斗くん (PⅡ4・南部中) 杉本 敏くん (PⅢ6・富士中) 稲葉 悠くん (PⅡ6・清水小島中) 佐野 陸斗くん (PⅡ4・富士川第二中)

創部24年、春夏通じて初の甲子園出場を果たした野球部。2020年甲子園高校野球交流試合第3日の第2試合、鹿児島城西を3-1で降した。エース肥沼は4回まで毎回走者を背負いながらも粘りの投球で完投。試合の均衡を破ったのは6回、3番大村が変化球を中前に運び、太田が先制のホームを踏み甲子園のスコアボードに初得点を刻んだ。勝利を大きく引き寄せたのは杉山 尊が放った2点ランニング本塁打。会心の一撃は夏空に最高の笑顔を輝かせた。



完投したエース
肥沼 竣君
(PⅢ5・所沢市立山口中)

日刊スポーツ提供



8回裏 ランニング
本塁打を打つ
杉山 尊君
(PⅢ5・三島南中)

日刊スポーツ提供

激動の1年を過ごした野球部主将の勝又は「改めて周りの方々に支えられて活動できていたことを実感した」と夢の舞台を振り返った。応援団・吹奏楽部・チアリーダー部による講堂でのPVや生徒会主導の横断幕など、多くの生徒に後押しされて夢の1勝を掴んだ野球部。甲子園で流れた勝利の校歌は、カトガク大応援団へ最高の恩返しとなった。

チアリーダー部

全日本チアダンス選手権大会 出場!!



Pom部門

令和2年12月27日(日)に武蔵の森総合スポーツプラザにて開催された、全日本チアダンス選手権大会に本校チアリーダー部(SHINE☆STARS)が出場した。3年生の引退後、初めての全国大会。コロナウィルス感染予防のためビデオでの出場となったが、所属する1、2年生全員でチーム一丸となり、Pom部門高校生編成Largeで全国9位という成績を収めた。

また、先日行われたUSA Nationals 2021の予選を勝ち抜き、Songleading部門、Jazz部門の2部門で全国大会への出場が決まった。今後のSHINE☆STARSの活躍にも期待したい。



Jazz部門

陸上競技部

全国高等学校陸上競技大会 男子ハンマー投げ 出場!!



齊藤 漢生君

(PⅢ6・長泉中)

令和2年10月23日(金)に広島エディオンスタジアムで行われた、全国高等学校陸上競技大会2020に、齊藤漢生(PⅢ6・長泉中)が男子ハンマー投げで出場した。予選大会で、全国大会出場の標準を超える54m84cmを記録しての出場であった。齊藤は高校生になってから競技を始め、コロナ禍で練習環境が厳しい中での集大成と

して臨み、大きな成果を上げることとなった。

「ハンマー投げが私の生きる道を作ってくれました。もっと上の舞台で活躍できるように、これからも一生懸命頑張ります。」(本人談) 進学後も競技を続ける予定である。今後の彼の活躍を祈る。

女子ソフトボール部

第54回静岡県高等学校男子・女子 新人ソフトボール大会 第2位!



令和2年10月25日(日)・31日(土)・11月1日(日)に浜松市天竜川運動公園にて行われた第54回静岡県高等学校男子・女子新人ソフトボール大会にて、女子ソフトボール部が2位に輝き、東海大会への進出と全国大会出場を決めた。3年生が引退し、新しい体制となって臨む初めての公式戦であったが、懸命に戦う姿が見られた。

東海大会は、令和2年11月14日(土)に三重県松阪市・松阪市総合運動公園で行われ、初戦で岐阜県の大治見西高等学校に5-1で敗れた。しかし、新人戦の結果により令和3年3月に愛媛県で行われる第66回全国私学大会への出場が決まっているため、全国の強豪たちとの戦いで、さらなる活躍を期待する。

化学部 第6回全国ユース 環境活動発表大会 関東地方大会 出場!!



化学部は、10月に行われた「令和2年度生徒理科研究発表会東部支部大会」において、最優秀賞を受賞、11月に行われた静岡県大会へ出場した。今年の研究論題は「吸光度法による全窒素・硝酸の測定及び浄化剤の効用確認について」。代々受け継いできた水質浄化の研究を進めていく中で、黄瀬川や富士川では上流から下流へいくにつれ水質が浄化されていることを発見した。溶岩石の作用に着目し、浄化装置の開発に努めた。

そして12月。動画審査となった「第6回全国ユース環境活動発表大会関東地方大会」では、動画の撮影、編集までも2年生が中心となり取り組み、優秀賞を受賞した。化学部のさらなる活躍に期待したい。